**地蔵茶屋跡**

この場所は、地蔵茶屋という大雲取越の中間地点にあった茶屋の跡地です。もとの茶屋は1921年に廃業し、やがて荒れるがままになっていましたが、2004年、世界遺産となった熊野古道の参詣者の休憩所として、新しい建物がこの場所に建てられました。内装は大雲取越沿いにあったもとの茶屋をイメージしたもので、木製の調度品と囲炉裏が設置されています。

この茶屋の名前はこの茶屋のすぐ北にある地蔵堂にちなんだものです。このお堂には旅人を見守る仏、地蔵菩薩の石像が32体安置されています。